

成人Down症多数例による Mガードの効果

- 重度の合併症のない20-40歳のDown症111例が対象
- Mガードを6か月間服用、3か月後、6か月後に退行症状と認知機能を退行症状チェックリスト(CL)とCS-DSを用いて投与前後で評価
- 全例分析でCL、CS-DSいずれでも有意に改善(3か月後に大部分で有意差を確認)、3ヶ月後と6か月後では有意差なし
- 最も改善した症状は、「興味を示すことの減少」、「以前出来ていたことができなくなった」、「対人関係が乏しい」、有意差はないが言葉が増えた例や5歳以上若返ったと感ずる例あり
- 副作用はほとんど無かった、少数例で下痢一減量で改善